

2024環境経営レポート

(対象期間: 2024年8月～2025年7月)



かけがえのない地球環境を美しいまま未来へ伝えたい

当社は「**Clean of the Earth**」(地球を美しく)をスローガンに掲げています。
限りある資源を最大限に生かしながら自然環境と共存していくために、クリーンな環境づくり、
そして幸せな暮らしづくりに取り組んでいます。

株式会社 丸八

発行日: 2025年8月1日

環境経営レポート

目次

1. 環境経営方針	1
2. 組織の概要	2
3. 環境経営目標及びその実績	3
4. 環境経営計画と取組結果とその評価、次年度の取組内容	4
5. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	5
6. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	6
7. 代表者による全体評価と見直し結果.....	7

株式会社 丸八

環境経営方針

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化防止に向け、環境負荷の低減を図るために、油除去フィルター、グリスバキューマを拡販することにより、環境保全活動に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 具体的に次のことに取り組みます。
 - ① 電力消費量の削減
 - ② 自動車・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - ③ 洗浄工程で発生する汚泥の減量化。
 - ④ 排水の再使用による水資源の節約
 - ⑤ 性能の良いフィルター、グリスバキューマの開発、販促
 - ⑥ セラミックフィルターの破損の減少
 - ⑦ 地域社会の環境活動に協力する
 - ⑧ BCP の策定
 - ⑨ グリーン・バリューチェーン・プラットフォーム（「脱炭素経営」）への取り組み

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日 平成 26 年 6 月 1 日

改定日 平成 28 年 9 月 28 日

令和 6 年 9 月 30 日

代表取締役会長 古玉貴重

2、組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名

株式会社 丸八 代表取締役 古玉貴重

(2) 所在地

〒729-0104 広島県福山市松永町351番地の3

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 古玉 貴重 TEL 084-933-2431

(4) 対象範囲(認証・登録範囲)

・事業活動

グリスフィルターレンタル・汚泥及び廃油収集運搬、浮上油自動回収機、
グリスバキューマ販売及びレンタル、公営選挙用ポスター掲示板レンタル
及び販売

・対象事業所

本社、広島営業所、岡山営業所、東京営業所、南松永倉庫、山口営業所

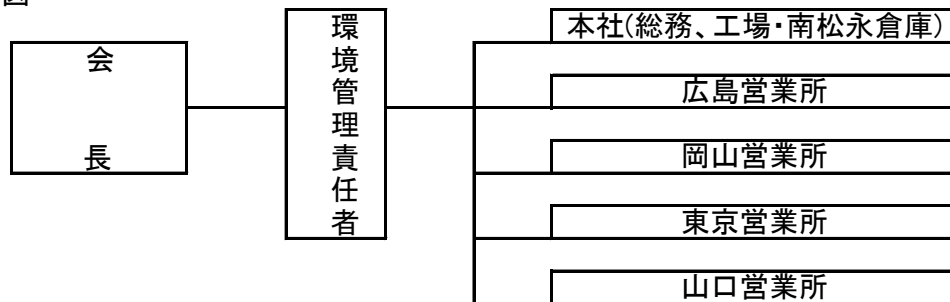
(5) 事業の規模

売上高 64,923 万円
従業員 38 名
延べ床面積 1141.8 m²

(6) 法人設立年月日 1969年9月1日

(7) 資本金 1,200万円

(8) 組織図



(9) 許可の内容

産業廃棄物収集運搬

・許可番号

03407040111(広島県)
03500040111(山口県)
03301040111(岡山県)

・有効期限

令和8年6月27日(広島県)
令和7年9月10日(山口県)
令和8年5月22日(岡山県)

許可の年月日

令和3年6月28
令和2年9月11日
令和3年5月23日

・許可の有効年月日

各5年間

・事業の区分

産業廃棄物収集運搬業(積替・保管を含まない)

・産業廃棄物の種類

汚泥、廃油

(10) 施設等の状況

収集運搬車 トラック 2台、ワゴン車・バン 15台

(11) 処理依頼実績(受託産廃の収集運搬量)

汚泥(51.59t)、廃油(52.72t) 年間 104.31t

3. 環境経営目標(単年度及び中長期目標)

全社

①主な環境負荷の実績

<全社の合計>

項目	単位	2021年年	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素排出量 (対象:エネルギー総量)	t-CO ₂	296	293	298	296
一般廃棄物排出量	トン	8.4	8.4	8.4	8.4
産業廃棄物排出量	トン	13.03	11.67	10.67	11.675
総排水量	m ³	2,428	2,022	2,230	1,103

②環境目標及びその実績

全社の合計	単位	2008年	2024			2025	2026	2027	
		(基準年度)	(目標) 基準年度比	(実績)	(達成率)	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比	
CO ₂ の削減	電気量の削減	kWh	77,217	-15% 65,634	58,623	112%	65,634	-16% 64,878	-17% 64,107
	ガソリンの削減	ℓ	55,440	-7% 51,559	48,292	107%	51,559	-8% 51,013	-9% 50,459
	軽油の削減	ℓ	21,282	-7% 19,792	36,281	55%	19,792	-8% 18,097	-9% 19,376
	重油燃料の削減	L	20,390	-20% 16,312	20,517	80%	16,312	16,312	16,312
CO ₂ 排出量の削減	t-CO ₂	237	-	296	-	-	-	-	
一般廃棄物の削減	kg	9,612	-10% 8,651	8,400	103%	8,650	-10% 8,650	-10% 8,650	
産業廃棄物の削減	kg	32,016	-27% 23,371	11,675	200%	23,371	-27% 23,371	-27% 23,371	
性能の良いフィルター、グリスバキューマの開発、促進	-	-	性能向上へ向けた取り組み	取組中	-	継続取組	継続取組	継続取組	
廃セラミックの減少	枚	453	-57% 194	46	422%	194	-57% 194	-57% 194	
水使用量の削減	m ³	2,208	-22% 1,722	1,103	156%	1,722	-22% 1,722	-22% 1,722	
地域環境活動へ貢献	回	12	12	12	-	12	12	12	

注)購入電力のCO₂調整後排出係数

中国電力 0.485 kg-CO₂/kWh

東京電力 0.421 kg-CO₂/kWh

(上段は削減率)

(下段は目標値)

2024年度実績

2024年度実績

4-1. 環境経営計画

項目		取組内容(年間活動)	責任者
CO2 の 削減	電気量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 不要照明をこまめに消す。 空調の適正温度管理を行う。 	樋谷 三反田 高野 青野
	ガソリンの削減	<ul style="list-style-type: none"> 移動の高効率化 自動車の小型化 アイドリングストップの励行 急発進・急加速をしない エコドライブの励行 	樋谷 三反田 高野 青野
	軽油の削減	<ul style="list-style-type: none"> 移動の高効率化 自動車の小型化 アイドリングストップの励行 急発進・急加速をしない エコドライブの励行 	樋谷 三反田 高野 青野
	重油の削減	<ul style="list-style-type: none"> 段取りを考え、ボイラー使用回数を削減する 	樋谷
一般廃棄物の削減		<ul style="list-style-type: none"> 物品の節約 分別する 文書類の裏面利用率向上 ミスプリントの削減 	樋谷 三反田 高野 青野
産業廃棄物の削減		<ul style="list-style-type: none"> 乾燥による 	樋谷
性能の良いフィルター、グリスパキューマの開発、促進		<ul style="list-style-type: none"> 仕入先へ情報提供、分析等行い、性能向上へ向けた取り組みを行う 	樋谷 三反田 高野 青野
廃セラミックの減少		<ul style="list-style-type: none"> 各自が状況を認識し大切に扱う 	樋谷 砂原 野崎 青野
水使用量の削減		<ul style="list-style-type: none"> 水道水削減目標説明 節水呼び掛け 洗浄廃水の再使用 	樋谷 三反田 高野 青野
BCPの策定		<ul style="list-style-type: none"> 事業継続力強化計画認定取得 BCP-01_事業継続方針の策定 BCP-02 以降の策定をする 	奥田 三反田 砂原 高野 青野
グリーン・バリューチェーン・プラットフォーム（「脱炭素経営」）への取り組み		<ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラル支援事業に着手 	三反田 砂原 高野 青野
地域社会の環境活動に貢献		<ul style="list-style-type: none"> 月1回、隣接地の清掃 	樋谷 三反田 高野 青野
グリーン購入の推進		<ul style="list-style-type: none"> 年2品目増やす 	青野

4-2. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組み内容

項目	取組内容	評価	結果の評価・次年度の取組内容	(達成率)
CO ₂ の削減	電気量の削減	○	節電意識は、取組開始から年々、高まっている。適切な空調の温度管理を行っている。きちんと点検を行っている。継続して行う	112%
	ガソリンの削減	△	営業範囲の拡大もあり、やむを得ない状況もある。しかし、移動の効率化を考慮するなど、意識向上にはつながっていると見える。更なる効率化を念頭に置いて、対応する。 ⇒コメントは目標値は絶対値であり、相対的な評価表現を導入検討する 継続して行う	107%
	軽油の削減	△	目標値には遠いが、範囲を超えているのは営業範囲の拡大もあり得ない状況もある。また、ガソリン車からディーゼル車に入替もあった為、目標値をオーバーしているものである。しかし、移動の効率化を考慮するなど、意識向上にはつながっていると見える。更なる効率化を念頭に置いて、対応する。 ⇒コメントは目標値は絶対値であり、相対的な評価表現をする 継続して行う	55%
	重油の削減	△	概ね目標値に近いが、売上高の伸び分、オーバーしているところは止むを得ない。しかし、工程手順においては、段取りよく行っている。引続き、継続していきたく ⇒コメントは目標値は絶対値であり、相対的な評価表現をする	200%
一般廃棄物の削減	○	順調に推移している。今後も削減率を下げる方向で継続して努力したい。	-	
産業廃棄物の削減	○	工場から出る汚泥の日射による乾燥を始めて、良好に推移している。継続対応する。	103%	
性能の良いフィルター、グリスバキューマの開発、促進	○	仕入先へ情報提供、分析等を行い、性能向上へ向けた取り組みを行う	継続して開発実験試験を行う。	
廃セラミックの減少	○	各自が状況を認識し大切に扱う	目標値に対しては、達成。昨年比でも、かなり良い結果。意識付けが進み、これを継続したい。	422%
水使用量の削減	○	水道水削減目標説明 節水呼び掛け 洗浄廃水の再使用	よく出来た。継続してさらなる節水を心掛ける。	156%
BCPの策定	○	事業継続力強化計画認定取得 BCP-01 事業継続方針の策定 BCP-02 以降の策定をする	継続して取り組む。	
グリーン・バリューチェーン・プラットフォーム（「脱炭素経営」）への取り組み	○	カーボンニュートラル支援事業に着手	継続して取り組む。	
地域社会の環境活動に貢献	○	月1回、隣接地の清掃	各営業所周辺を清掃することにより地域に貢献している。これを継続していく。	

凡例：○ 概ね、実施出来ている
 △ もう少し、がんばる必要がある
 × 取組みの見直しが必要である

BCP-01
事業継続方針

—第1版—
2024年8月1日
株式会社丸八

承認印



改定履歴

第1版 2024年7月12日（作成日） 2024年7月31日（承認日）

内容：事業継続計画（BCP）の策定に伴い新規作成

作成者：奥田 美津子

事業継続方針

株式会社丸八株式会社（以下、「当社」といいます。）は、グリスフィルターレンタル・排水環境事業・店舗トータルクリーニングを主な事業としており、これらの事業が中断した場合、当社製品ならびにサービスを利用されているお客様に多大な影響を与え、お客様からの信頼を失うことが予想されることから、当社の事業を中断させる様々な脅威への対応として、この方針に基づく事業継続計画（以下、「BCP」といいます。）を策定し、社内外の環境変化に応じた継続的改善を行っていくことを宣言します。

(1) 事業中断の防止ならびに是正

当社は、優先して継続・復旧すべき事業を明確にし、目標復旧時間内に事業が復旧出来るよう、事業の中断に関するリスクを十分に認識及び分析し、必要かつ合理的な管理措置を講じ、緊急事態発生時の体制ならびに対応手順を事前に定めておくことにより、事業中断の防止を図ります。また、事業継続に影響を及ぼす新たな脅威を察知した際には、遅滞なく是正処置を講じます。

なお、現時点（この方針の最終改定日）での当社における BCP の適用範囲は次の通りとなります。

<BCP の適用範囲>

- a) 組織 : 株式会社丸八
- b) 拠点 : 本社（所在地：広島県福山市松永町 3 5 1 番地の 3）
- c) 事業 : グリスフィルターレンタル・排水環境事業・店舗トータルクリーニング
- d) 資産 : 上記事業にかかわる全従業員ならびに各種設備機器

(2) 事業継続に関する意識と組織対応能力の向上

当社は、BCP に関する教育ならびに演習を定期的実施することにより、事業継続に関する意識と組織対応能力向上を図ります。

(3) 法令、国が定める指針その他の規範の順守

当社は、BCP の策定に当たり、事業継続に関する法令、国内外の指針、その他の規範等を順守します。

(4) 持続可能な開発目標の達成に向けた貢献

当社は、気候関連災害や自然災害に対する強靱性（レジリエンス）及び適応の能力を強化することにより、SDGs（Sustainable Development Goals = 持続可能な開発目標）の達成に貢献します。

(5) お問い合わせへの対応

当社の事業継続に関するお問い合わせについては、次の窓口にて承ります。

<事業継続に関するお問い合わせ窓口>

- a) 責任者 : XXX
- b) 所在地 : 〒729-0104 広島県福山市松永町 3 5 1 番地の 3
- c) 電話番号 : 084-933-2431
- d) E-mail : info@maru-hachi.co.jp

(5) BCP の継続的改善

この方針を基本理念として策定する BCP について、事業内容の変化、社会情勢及び内外から寄せられるお問い合わせの内容を十分考慮し、継続的に改善します。

制定日：2024 年 7 月 31 日

最終改定日：2024 年 7 月 31 日

代表取締役 古玉 貴重

5. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

☆浮上油自動回収機 グリスバキューマシステム

当社は「Clean of the Earth」(地球を美しく)をスローガンに掲げています。
限りある資源を最大限に生かしながら自然環境と共存していくために、クリーンな環境づくり、
そして幸せな暮らしづくりに取り組んでいます。



業界№1

商標登録取得済

グリスバキューマ

☆空調機等の節電



室温の設定温度を明示することにより、節



ペーパーレスFAXを導入し、必要な書類のみを印刷する



サーキュレーター(360度回転)・加湿器を導入し、室内の空気を循環させたり、空気の温度を上昇させることでエアコンの節電を図る



熱遮断ネットを使用し、直射日光を遮って室温の上昇を抑える。
サルフレアを植樹し、緑のカーテンを目指す

☆産業廃棄物(自社分)汚泥の乾燥による処理量の削減



☆当社周辺の清掃活動



☆性能の良いエアコンを導入し、電力を抑え



☆化学薬品漏洩緊急事態訓練



(緊急事態時の操作方法確認)

☆目視化による意識付け



☆化学薬品漏洩緊急事態訓練
☆少量危険物取扱所の看板をリニューアル



☆待機電力の削減意識



例) 使用しない家電のコンセントを抜く
(シュレッダー・プリンター・コーヒーマーカー・ポット)

☆BCPへの取り組み

1. 事業継続力強化計画に係る認定について
令和7年5月22日付で中国経済産業局より認定された
2. BCP文書記録様式について
・BCP-01_事業継続方針の策定

6、環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当社に適用となる主な環境関連法規等

法律名	遵守すべき事項	遵守状況
1. 廃棄物処理法 (産業廃棄物)	・マニフェストの発行・管理 ・産業廃棄物処理契約書 ・分別管理	○
2. 廃棄物処理法 (一般廃棄物)	・収集運搬車の許可確認 ・分別管理	○
3. 消防法	・危険物保管の届け出 ・ボイラー設置の届け出 ・消防用設備の届け出	○
4. 下水道法	・排水基準以下	○
5. フロン排出抑制法	・簡易点検実施 2016年から	○

(2) 自社の事業活動に関する法令違反は、ありません。

関係当局からの違反等の指摘は、過去3年間なく、訴訟もありません。

7、代表者による全体評価と見直し結果

◇ 環境への取組評価

エコアクション21に取り組み始めてから、環境活動への取組意識が社内に浸透してきたと思う。目標値の達成をすること、また、出来ているものに対しては維持をしていく為に、更に一層、社内意高まって欲しい。

	項目	評価の内容	
	全体評価	環境への取り組みは適切に実施されているか	二酸化炭素排出量の削減、ガソリン使用量の削減、電力使用量の削減、一般廃棄物の削減等については、適切に取組みが行われています。
環境経営システムが有効に機能しているか		システムについても有効に機能しています。	
見直し・指示	対象	変更の有無	見直しの内容及び指示
	環境経営方針 環境経営目標	有	BCP策定(事業継続力強化計画認定を取得した)・脱炭素経営を目指す
	環境経営計画	有	BCP策定(事業継続力強化計画認定を取得した)・脱炭素経営を目指す
	実施体制	無	なし

株式会社丸八

代表取締役 古玉 貴重